

学年	高校3年	教科	数学科	科目	数学演習	単位数	4
主教材名		オーダー問題集 (数研出版)		副教材名	サクシート数学Ⅰ+A (数研出版) サクシート数学Ⅱ+B (数研出版)		
コース・クラス		N進文系					

I. 目標

数学ⅠAⅡBC (ベクトル) の基本事項を復習、演習し、知識の整理を行うことで、日本大学基礎学力到達度テストの標準化点 55 を目指す。また、数学の基本的な原理や法則を理解させ、知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を育てる。

II. 授業のねらい

基本事項を確認し、単元ごとに関連した演習を行うことで、各単元同士の関連性や知識を整理するとともに、総合的に問題を解く力を身につける。その時々で問題を解く時間を設定し、日本大学基礎学力到達度テストを想定して取り組ませる。

III. 授業の進め方

1. 問題集を中心とした授業を展開する。基礎学力到達度テストに向けた問題を取り扱う。
2. 定期的に小テストを実施し、定着の度合いを図る。
3. 状況に応じて、問題集等の副教材を使用する。

IV. 学習上の留意点

1. 問題集、問題集用ノートを用意して授業に臨むこと。
2. 定期試験の返却後、間違えた問題を確認し、復習を行うこと。
3. 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験

問題集の内容を中心に出题する。

- 1 学期 中間試験 : 数学ⅠAⅡBC (ベクトル)
1 学期 期末試験 : 数学ⅠAⅡBC (ベクトル)
2 学期 期末試験 : 数学ⅠAⅡBC (ベクトル) + 数学総合問題

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標			
一学期	4	【数学Ⅰ】 1章 数と式 2章 集合と命題 【数学A】 1章 場合の数と確率 2章 図形の性質 3章 整数の性質 【数学Ⅱ】 1章 式と証明 2章 複素数と方程式 3章 図形と方程式 4章 三角関数 5章 指数関数・対数関数 6章 微分法・積分法 【数学B】 1章 数列 2章 確率分布と統計的な推測 【数学C】 ベクトル	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> 基本事項を確認し総合演習を行うことで、単元ごとの関連性に気付く。 演習プリントを通して、日本大学基礎学力到達度テストにより近い問題に慣れる。 複数の問題を解く際、時間配分を考えながら問題に取り組むことができる。 幅広い知識を習得し、個人で勉強を進めることができる。 			
	5						
	6						
	7						
	9				到達度テスト過去問演習	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> 過去問題を使用して、各々正答率を上げる。過去問題で7割以上得点できる。 (大問1は8割、その他各大問平均6.5割) 高校数学だけでなく、色々な数学の問題に取り組むことで、数学的知識や数学的思考の活用の幅を広げる。
	10				問題演習		
	11						
	12						

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。